

環境ミュージアムリニューアル概要

- 施工者：(株)丹青社
- 改修期間：平成23年10月～平成24年3月31日
- 経費：約42,000千円

1. プロローグ

産業都市である本市は、まち全体が工場地帯といったイメージがあるが、市域の4割を山林が占め、関門海峡等の海にも囲まれた自然豊かなまちであることをそれらの風景写真を全面に使って紹介。また、正面上方には、著名人等の環境に関するメッセージを放映。



2. 第1ゾーン（北九州市の変遷）

既に展示している鉄鉱石や原油、セメントに追加して、市内企業で生産しているコークスや高炉セメント原料などを展示。

3. 第2ゾーン（公害克服の歴史）

市民、企業、大学、行政の協働により、公害克服の道へと進んでいった道のりをわかりやすく説明した展示に刷新した。また、公害克服で培った技術・ノウハウを開発途上国の環境改善に貢献してきた営みの紹介もリニューアルした。



4. 第3ゾーン (旧都市と地球の環境問題 → 新地球環境とわたしたち)

コーナータイトルを変更し、人類が直面している環境問題について楽しく学べる体験型のアトラクションに全面改修した。

夜の地球 昼の地球	10年前と現在の夜と昼の地球の衛星写真を比べてエネルギーの消費状況や都市化、森林減少等を学習。
エネルギーは何で作る？	エネルギーの素(恐竜→石油など)をあみだくじを使って学習。化石燃料と温暖化の関係も紹介。
地球温暖化	温暖化の仕組みや影響を紹介。市民と日本人一人あたりのCO ₂ の排出量をピンポン玉で表現。
水はどこから来る？ (水問題)	水の循環を手動ボールコースター装置で体験。市民が1日に使用する水の量をペットボトルのオブジェで表現。バーチャルウォーターの仕組みも紹介。
いのちはつながっている (自然)	曽根干潟と山田緑地の生態系をグラフィックで紹介。ミニ・プラネット(閉鎖生態系装置)を設置。
70億人の地球 (人口問題)	エコロジカルフットプリントの考え方を天秤を使って学習。(日本:地球2.5個、アラブ首長連邦:同6個)
食	フードマイレージを紹介。食材の選び方によってフードマイレージが変化することを弁当づくりを通して学習。また食品廃棄物の現状を紹介し、食べ残しをしないよう啓発。
石油資源	いかに石油製品に囲まれて生活しているかを学習。石油の確認可採埋蔵量を富士山を使ってわかりやすく紹介



5. 第4ゾーン (環境技術とエコライフ)

3Rの展示や「ごみのゆくえ」など、3R・資源循環の最新の展示内容にリニューアルした。

6. 第5ゾーン (旧環境未来都市 → 新北九州市環境未来都市)

エコハウスとエコドリーマーを撤去し、企画展なども開催できるような広々とした空間を創出した。「北九州市環境未来都市の取組み」を「スマートコミュニティ創造事業」や「アジア低炭素化センター」、「水ビジネス」「市民・団体・企業・学校の環境活動」などについて写真を中心に紹介。また、スマートコミュニティをAR(拡張現実)で体験する展示も配置した。



7. 全体

館内の展示室等の照明にLEDを導入。また、映像機器も液晶テレビに全て取り替えた。活動紹介コーナーは、更新が可能な圧着シートで作成した。

平成24年4月より、入館料を無料化し(従前大人100円、子供50円)、より身近に環境ミュージアムを活用いただけるようにしている。